

5 月 11 日に洋光台エリア会議（第 1 回）を開催しました。その概要をお知らせします。

■洋光台エリア会議とは

洋光台エリア会議は、洋光台地域の良好な社会資本を有効活用し、価値を維持・向上させて、次世代に引き継ぎ、以下の(1)から (3) を実現することを目的として設置しました。これから、多世代近居、防災、駅前再編・景観形成、エネルギーマネジメント、その他、洋光台地域の価値を維持・向上させることに資する取り組みの検討を開始します。

- (1)地域の課題解決の担い手となる専門性を持った組織のプラットフォームの構築
- (2)複合的なテーマを扱うグループの形成や活動スキームの波及、新たな取組主体の参画などによるエリアの活性化
- (3)各主体の連携を連鎖的につなげること

洋光台エリア会議の構成員	
有識者	座長 小林重敬（東京都市大学都市生活学部教授、横浜国立大学名誉教授） 大江守之（慶應義塾大学総合政策学部教授） 中村文彦（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）
洋光台まちづくり協議会	会長、副会長（公園・街路空間整備部会長）、 副会長（住環境整備部会長）、駅前・商空間整備部会長
神奈川県	県土整備局建築住宅部長、参事、住宅計画課長
横浜市	政策局政策部 政策担当部長、政策課 担当課長、 建築局企画部長、企画課長、磯子区総務部区政推進課長
UR 都市機構 神奈川地域支社	住宅経営部長、ストック活用・ウェルフェアチームリーダー （事務局）団地マネージャー（洋光台エリア担当）

■洋光台エリア会議（第 1 回）概要

開催日時・場所	平成 24 年 5 月 11 日（金） 16：00～18：00 洋光台中央団地集会所
議事内容	(1)多世代近居ケーススタディ検討会とりまとめ（神奈川県） (2)洋光台エリア会議について（UR 都市機構） ①設置及び運営に関する要領(案) ②構成及び対象エリアの将来イメージ(案) ③H24 年度 of 取組内容(案) ④H24 年度 of 進め方(案) (3)横浜市「環境未来都市」計画の概要及び洋光台エリアのモデルプロジェクトへの位置づけ（横浜市） (4)住宅市街地等におけるエリアマネジメントとその担い手（小林座長） (5)意見交換

H24 年度の取り組み内容（案）

- a) 洋光台駅前商店街への地域活動拠点の設置に向けた検討
- b) 地域北部における地域ケアプラザのランチ機能誘致の検討
- c) 地域が必要とする新たな移動手段（モビリティ）導入の検討
- d) 地域内住み替えシステム構築に向けた検討
- e) H25 年度以降の洋光台エリア会議の体制及び対象エリアの検討
- f) 中層住棟屋上等への太陽光パネル設置・エネルギー活用に向けた検討

※取り組み推進のために必要な洋光台エリアの基礎調査を実施

<主な意見等>

【決定事項】

- 会議名称は「洋光台エリア会議」に決定
- 会議の議事内容は共有し共通の情報発信資料として活用

【継続検討事項】

- H24 年度の取り組みはテーマを限定せず、幅広く検討
- 交通は地域ニーズを把握し、移動手段（モビリティ）だけでなくいろいろな方策を検討
- 多世代近居
 - 住み替えニーズの把握が必要
 - 若い世代を呼び込むにはソフト・ハードの両方で魅力的にしていけることが必要
 - 100 坪宅地は若い世代には取得が難しい、土地利用の規制等を含めて検討が必要
- 駅前・施設の活性化
 - コミュニティサロンの担い手はいるが、家賃が課題
 - 物販店を誘致してほしい
- 基礎調査の必要性
 - まちづくりのために必要な基礎調査を若者、女性、子育て世帯、高齢者など幅広く実施
 - アンケート、ヒアリングなど、いろいろな手法で調査
 - 数年毎に定期的に調査を行い、経年変化をフォローアップ

H24 年度の進め方（案）

5 月 11 日 洋光台エリア会議（第 1 回）

夏～秋 地元を交えたワークショップの企画等

秋～冬 洋光台エリア会議（第 2 回）

- ・取り組み状況の中間報告
- ・基礎調査の内容（案）

2～3 月 洋光台エリア会議（第 3 回）

- ・H 24 年度の取り組みのまとめ
- ・H 25 年度の体制
- ・H 25 年度の取り組み内容



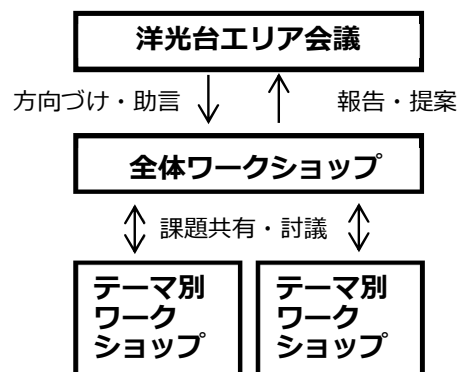
11 月 10 日に第 1 回全体ワークショップを開催しました。その概要をお知らせします。

■ 洋光台エリア会議とワークショップ

洋光台エリア会議は、地域の価値の維持・向上に向けた取り組みを検討するため、まちづくりに関わる関係者をつなぐ場として、平成 24 年 5 月にスタートしました。これから様々な取り組みを検討するにあたり、地域にお住まいの方、地域で活動される方などのご意見や力をまちづくりに活かすため、ワークショップを継続的に開催することを予定しています。

ワークショップは、様々な立場・年代の方が集まり、意見交換や情報共有をしながら、ネットワークを築くための「**全体ワークショップ**」と、全体ワークショップで出た意見などを基に、重点的に取り組むテーマを絞って具体的な取り組みについて話し合う「**テーマ別ワークショップ**」を行います。

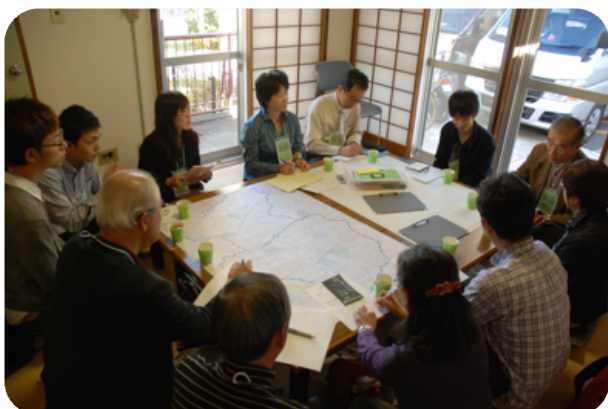
ワークショップで検討した内容は、洋光台エリア会議に報告・提案し、有識者からの方向づけ・助言などを受け、それをワークショップに反映しながら具体的な取り組みを進めていきます。



■ 第 1 回全体ワークショップ概要

開催日時・場所	平成 24 年 11 月 10 日（土）14:00～16:30 洋光台北団地集会所
参加者 （計 62 名）	洋光台まちづくり協議会、町内会・自治会、PTA、地区社協、子育て・高齢者支援組織、地域活動組織、子育てサークル、大学生、洋光台地域ケアプラザ、神奈川県、横浜市、磯子区、UR 都市機構、まちづくりコンサルタント等
プログラム	テーマ『まちの可能性を探る』 (1) 開会／あいさつ／ワークショップの進め方について (2) グループディスカッション（11～13 人×5 グループで実施） (3) 発表・まとめ、今後の進め方

グループディスカッションでは、参加者の自己紹介、「洋光台らしさ」、「洋光台のよいところ、課題」、「地域で取り組みたいこと」、「今後議論を進めるべきテーマ」などについて、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。



グループディスカッションで出された主な意見

洋光台の まちの良さ	ゆったり・落ち着いた・静かなまち 整然とした街並み、青い空、のどか、安全 駅を中心とした利便性 交通利便性、日常の買い物に便利、駅に近い 子育て環境 幼稚園・保育園が近い、プレイパーク・ログハウス・はまぎんこども宇宙科学館がある、歩きやすい道 公園・自然が豊か 大小様々な公園、四季を感じる、円海山、街路樹 地域の人々 自治組織・コミュニティがしっかり、人材豊富、文化がある、盛大な健民祭
まちの課題	交通 駅前の交通機能が弱い、買い物しづらい、北部からケアプラザが遠い 住宅 狭い、同居できない、高い、ミニ戸建て、若い人は寝に帰るだけ？ 商業 港南台の方が賑わっている、まちが寂しい、レストランが減った 子育て 子連れ向けの店がない、子どもの音が高齢者にはうるさい 高齢者 居場所がない、単身者の増加、安否確認が困難 自治会 人付き合いが面倒という人が増えた、自治会の役割が理解されづらい
取り組みたいこと	●駅前の活性化 交通 高齢者などの移動の支援、共有自転車の普及、駐車場・駐輪場の改善 場 空店舗・広場の活用、広場・建物の改善、レストラン・「まちのえき」の実施 イベント お御輿、祭、マラソン大会、お月見、映画、スタンプラリー・・・等 ●コミュニティ活性化・多世代交流 情報共有 インフォメーションセンター（情報集約、情報発信）、ホームページの充実 場 居場所づくり、集まれる場所、カフェ、多世代交流、おしゃれな場 若者 若者向けの施設・店舗・学校・住宅、洋光台二世世代が戻ってくる故郷に 子育て 気軽に集える場所、子どもに配慮した公園のトイレ、保育の充実、地域で子育て 高齢者 安心して暮らせるまち、高齢者のための施設・環境 イベント 多世代が関わるイベント、地域参加のきっかけづくり 人材発掘 地域のスキル豊富な人材をまちの活性化に活かす 助け合い 相互扶助、ちょっとしたボランティア

今後の進め方

これらの意見を受け、「テーマ別ワークショップ」で取り組む課題として、当面、以下の2つの検討テーマを設定することになりました。

【テーマA】駅前活性化

【テーマB】コミュニティ活性化・多世代交流

今後のスケジュール（予定）

- ①テーマ別ワークショップ（12月～）
- ②第2回 洋光台エリア会議（12/20）
- ③第2回 全体ワークショップ（3月）
- ④第3回 洋光台エリア会議（3月）



洋光台エリア会議ニュース

NO. 3

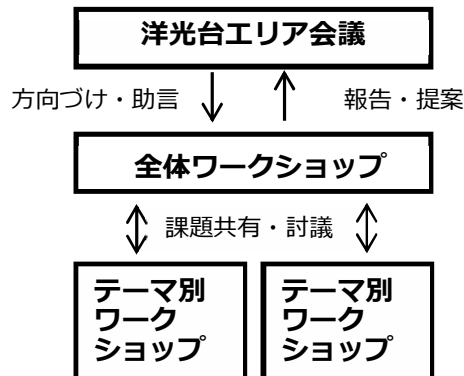
平成 25 年 2 月

洋光台エリア会議事務局

12 月 17 日・18 日にテーマ別ワークショップ、12 月 20 日に洋光台エリア会議（第 2 回）を開催しました。その概要をお知らせします。

■テーマ別ワークショップとは

第 1 回全体ワークショップで出された意見を受けて設定された検討テーマ「駅前活性化」「コミュニティ活性化・多世代交流」について課題等を抽出・検討するワークショップです。話し合った内容は 3 月の全体ワークショップで報告します。



■テーマ別ワークショップ概要

テーマ	A：駅前活性化	B：コミュニティ活性化・多世代交流
開催日・場所	平成 24 年 12 月 17 日（月） 洋光台中央団地集会所	平成 24 年 12 月 18 日（火） 洋光台北団地集会所
参加者	洋光台まちづくり協議会、町内会・自治会、子育て・高齢者支援組織、地域活動組織、子育てサークル、洋光台にお住まいの方、大学生、神奈川県、横浜市、磯子区、UR 都市機構、まちづくりコンサルタント等（A：27 名・B：37 名）	
プログラム	・駅前地区のまちあるき ・駅前の生活場면을テーマに意見交換	・自己紹介（住まい、活動、自己 P R 等） ・若者との交流をテーマに意見交換
意見交換内容（一部）	公園は母親たちが重宝しているようだ/ 昔は夕方市があり賑わった/駐車場や駐輪場が不足/昔の駅前には活気があり広場に水や緑があった/団地中庭の子どもを部屋から見守る母親が沢山いた など	若者との交流には共通の話題が必要/諦めずに声をかけよう/地域の人材から学ぶ「洋光台塾」/電源とインターネット環境が若者を呼び込む/まちに興味を持った時に行ける場所(拠点)が欲しい など

■洋光台エリア会議（第 2 回）概要

洋光台エリア会議では、多世代近居、防災、駅前再編・景観形成、エネルギーマネジメント、その他、洋光台地域の価値の維持・向上につながる取り組みを検討しています。第 2 回会議では下記議事内容のうち特に「（４）平成 24 年度洋光台エリア会議の取り組みの現状」について意見交換内容をお知らせします。

開催日時・場所	平成 24 年 12 月 20 日（木）15：00～17：00 洋光台北団地集会所	
参加者	有識者・洋光台まちづくり協議会・神奈川県・横浜市・UR 都市機構	
議事内容	(1)ワークショップ・アドバイザー会議の報告 (UR 都市機構) (2)「多世代近居のまちづくり」検討業務について (神奈川県) (3)まちづくり次世代育成プロジェクト・共創フォーラムについて (横浜市) (4)平成 24 年度洋光台エリア会議の取り組みの現状 (県・市・UR) (5)今後の予定 (6)意見交換	

<(4)平成 24 年度洋光台エリア会議の取り組みの現状について>

- ①地域活動団体ヒアリング、②全体ワークショップ、③テーマ別ワークショップ、④その他、
⑤多世代近居のまちづくり計画、⑥多世代交流担い手講座、⑦住み替え相談会、
⑧次世代育成プロジェクト（市内高校生によるまちづくり提案）、⑨共創フォーラム

<項目別取り組み状況および第 2 回会議での意見等>

a：洋光台駅前商店街への地域活動拠点の設置に向けた検討（①②③⑥）

- 活動拠点の試行の第一弾として「担い手講座」を 1～3 月に実施予定
講座の内容は将来に向けた可能性づくり、参加者の自発性を受け止めるトライを期待
- 活動拠点試行の第二弾の実施内容はテーマ別ワークショップで今後検討（テーマ A）
- 空き店舗が活用されれば即活性化すると誤解されないことが必要
- 駅前だけでなくまち全体をマネジメントするという視点も必要
- 賑わいとしての「夕方市」復活について、次回ワークショップまでに課題を整理
- 駅前広場空間活用は、活性化だけでなく防災・減災の視点も取り入れ検討

b：地域北部における福祉及び多世代交流拠点に関する検討（①②③）

- テーマ別ワークショップで検討中（テーマ B）
- U R 都市機構の集会所や団地の屋外空間の活用を今後検討

c：地域が必要とする新たな移動手段（モビリティ）導入の検討（①②③）

- 交通がうまくまわることが活性化への道
- 駅前では特に駐輪場・駐車場に課題

d：円滑な地域内住み替えに向けた検討（①②⑤⑦）

- 「住み替え相談会」を 1～3 月に実施予定（2 月は梅の里まつり会場を予定）
- 団地と戸建てでうまく住み替えができ、洋光台に住み続けられるような仕組みができるといい

e：H25 年度以降の洋光台エリア会議の体制及び対象エリアの検討

- 洋光台の未来を開く有効な政策と協力体制を議論出来る場に
- 防災、防犯、太陽光パネル等、県・市・U R が一緒に展開できる取り組みの可能性の議論を
- 洋光台エリア会議の P R が必要（2 月に開催される梅の里まつりで P R コーナーの設置を検討）
- 戸建て住宅居住者にもメリットのある取り組み・発信を

f：中層住棟屋上等への太陽光パネル設置・エネルギー活用に向けた検討

- 洋光台エリア全体の防災・防犯の視点も含め今後検討

g：基礎調査（事業効果指標検討）

- 経年変化や他事例との違いを把握するために必要
- さまざまなニーズ把握はワークショップや対応するアンケートにより把握

■今後のスケジュール

- ①担い手講座（2 月～3 月）
- ②住み替え相談会（2 月 23 日、3 月 2 日）
- ③テーマ別ワークショップ
（2 月 25 日、26 日）
- ④第 2 回 全体ワークショップ（3 月 10 日）
- ⑤第 3 回 洋光台エリア会議（3 月 22 日）



A：駅前活性化

テーマ別ワークショップの様子



B：コミュニティ活性化・多世代交流